

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2024/05/10

二十世紀末葉を
 生きる東京人たちは
 この保科正之のお話
 にならざることもかつてある。
 それは玉川上水の水を用いて生活
 していることである。
 実況玉川上水の開削を發案し
 幕閣たちの大反対を押しよこ
 してこれを竣工させたのは保科正
 之である。また水門脇を流れる
 夕摩川には水門側の土手を
 壊さないために土手から斜めに
 夕摩川に突き出した「出」が
 ク所設置され、川の流れを弱めています。



2024/05/10



2024/05/10

玉川神社
 玉川上水を開削した玉川兄
 第が創建。
 当初は玉川上水の旧取水口脇
 の水辺にあったが、
 玉川上水の拡張工事の際に
 現在地に移転した。

江戸時代には蛇籠(いかご)竹で編んだ籠の中に拵石を詰め込め、木の製の投渡堰で水を誘導し、水を取り込み、現在、阿蘇神社が鎮座する下に長さ2層、2尺の三角枠が3ヶ所設けられていました。



2024/05/10



2024/05/10